

三国中学校だより

【校訓】誠心 自主 創造

— 自ら想像し、考え、行動する生徒の育成 —

合言葉：進取果敢



小郡市立三国中学校

第 1 号

令和7年4月14日発行

文責 校長 米倉佳美

令和7年度が始まりました！ ～今年1年よろしくお願いいたします～

春の気配もととのい、保護者や地域の皆様におかれましては、ますますご健勝にお過ごしのこととお喜び申し上げます。本年度より、校長をさせていただきます米倉佳美（よねくら よしみ）です。どうぞよろしくお願い致します。

4月7日（月）に進級した新2年生、3年生は、新しいクラスで始業式を迎えました。少しばかり緊張した子どもたちの表情からは、新たな出会いへの期待と、よいスタートにしたいという決意が感じられました。

私からは、次のようなことを伝えました。

「進取果敢」。自ら積極的に、失敗を恐れずに取り組むということ

「こんな自分になりたい」「こんなことができるようになりたい」等の目標が明確になったら、その目標を達成するための具体的なプロセスを描いてみよう。

例えば、「友だちから信頼される存在になりたい」という目標があったとする。そのために、「1学期は自分から挨拶をする」「2学期は挨拶に一言を添えるようにする」「3学期はクラスのリーダーに立候補する」というプロセスを言語化してみる。リーダーに選ばれる、イコール、信頼される存在というように解釈するのであれば、その目標は達成されたことになる。

挨拶、リーダーに立候補するというのが、これまでの自分の行動にないものだとしたら、その一歩はとても大きなものである。さあ、「進取果敢」な姿勢で目標を達成していこう。

退職・転任者、赴任者の紹介

退職・転任された先生	赴任された先生

教育条件整備運動のお礼

ご近所や職場など、様々なところに回って書いていただいた署名は、三国中校区 5,361 筆、小郡市全体で 22,508 筆でした。多くの保護者や地域の皆様のご協力により、今年度も三国中学校に養護教諭の 2 名配置を実現することができました。また、三国中校区では、小中 3 校に、養護教諭以外に 10 名の教職員の基準外教職員定数が配置されました。改めて感謝申し上げます。

第32回入学式 ～ 258名の新入生 凜として ～

4月9日（水）、新入生の門出を祝うような晴天に恵まれ、真新しい制服に身を包んだ新入生 258 名が入学してきました。

新入生を代表して、さん
から「中学生として、常に自分から行動し、一人ひとりが主役となれる向上心をもった学年を創っていきたい」という力強い誓いの言葉がありました。



私からは、現在、国際宇宙ステーションで活躍されている宇宙飛行士の大西卓哉さんの生き方や考え方を取り上げながら、夢をもつこと、そして、夢をかなえるために具体的な行動を起こしてほしいということを伝えました。仲間とともに夢を語り合い、そして、助け合い、心を通わせ、お互いに高めあえる 3 年間にしていってくださることを願っています。

対面式・部活動紹介 ～ 全校生徒 788 名 ～

4月10日（木）、全校生徒が一堂に会し、生徒会による対面式と部活動紹介が行われました。副会長のさんが、在校生を代表して歓迎の言葉を述べてくれました。温かい思いやりのある内容でした。生徒会のそれぞれの専門委員長からは、生徒会の一員となった 1 年生が安心できるように、生徒会活動の内容を丁寧に紹介してくれました。また、執行部からは、「三国中クイズ」と題し、クイズ形式で楽しみながら学校生活について知るという機会もつくってくれました。

部活動紹介では、特設駅伝部を含めた 14 の運動部と 7 つの文化部それぞれが、工夫を凝らし分かりやすく、普段の練習や活動の様子を伝えました。企画・準備・運営をしてくれた生徒会拡大執行部と各部活動の皆さん、ありがとうございました。

